

「天の川です 銀河です スワンが翼を広げます わたりなさい わたりなさい翼の橋です わたりなさい……」私がこの歌に出会ったのは十年程前。子ども達と歌う曲を探していました。口ずさんでみながら、幼い頃の七夕まつりの思い出に浸っていました。

淡路島を臨む海辺で幼少時代を過ごした私は、その頃の思い出の全てが海につながっているようです。「あれが天の川」と父の指差す方を見上げた時も、波の音が伴奏に入っていたし、かささが天の川に橋を懸けて、一年に一度だけここ星さまと織り姫さまが会える話を母から聞いた時も、「かささがこの海で遊びたくなって、降りてきたらどうしよう。」二人は、天の川の真中で会うのかな? かささぎの背で会うのかな? 淡路島で会えばいいのに……」などと、余計な心配をしていたそうです。

願い事を書いた短冊や飾りを吊るした笹飾りも、翌日は海に流しました。しば

らくは波に揺られて寄せては返していた七夕飾りも、やがては沖の方へ漂っていき見えなくなります。そして、それを見送る者達に、願い事は叶うに違いないと思わせるのでした。

神さまは海の彼方と空の彼方が出会う水平線のむこうにいらっしやる。私はかなり大きくなるまでそう思っていたようです。ですから「海に向こうはアメリカだよ。」と言われた時の驚きを今でも覚えていっています。

「七夕まつり星まつり みんな良い子になるように」海に連なる空に輝く星のおまつり、この日にお願ひすれば、皆、良い子になれる……。そう信じられた幼い頃があった事が、そう信じられた星空を思い出の中に持っていられる事が、若かった父と母の思い出と共に、私にとっても故郷と呼べる地のある事が、人生、ゆっくりと味わおうと思える年齢になった今になって、何よりの宝物となつて光り輝いてきます。

(Y)

幼児の教育 第八十七巻 第七号

七月号

◎

定価 四〇〇円

昭和六十三年 六月二十五日 印刷
昭和六十三年 七月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
所フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。